

卸売業者の経営状況（概要）

水産物部、青果部、花き部のいずれも減収減益

<東京都中央卸売市場の卸売業者29社の平成30年度(平成31年3月期)事業報告書を集計>

【ポイント】

○ 水産物部

卸売業務における販売数量は減少、販売単価は上昇した。

- ・「売上高」は、卸売業務の減少が兼業業務の増加を上回ったため、減収となった。
- ・「売上総利益」は、兼業業務利益が増加したものの、受託販売手数料及び買付販売利益が減少したため、全体では減益となった。
- ・「営業利益」及び「経常利益」は、売上総利益の減少が販売費及び一般管理費の減少よりも大きかったため、減益となった。

○ 青果部

卸売業務における販売数量は減少、販売単価は野菜が下落、果実は上昇した。

- ・「売上高」は、卸売業務、兼業業務いずれも減少したため、減収となった。
- ・「売上総利益」は、買付販売利益が増加したものの、受託販売手数料及び兼業業務利益が減少したため、全体では減益となった。
- ・「営業利益」及び「経常利益」は、販売費及び一般管理費が増加したため、減益となった。

○ 花き部

卸売業務における販売数量は減少、販売単価は切花、鉢物ともに上昇した。

- ・「売上高」は、卸売業務、兼業業務いずれも減少したため、減収となった。
- ・「売上総利益」は、買付販売利益及び兼業業務利益が増加したものの、受託販売手数料が減少したため、全体では減益となった。
- ・「営業利益」及び「経常利益」は、売上総利益が減少したため、減益となった。

1 卸売業者数

部 類	卸売業者数及び本社所在地	
水 産	8社	<豊洲7、足立1>
青 果	10社	<大田3、豊洲・豊島・淀橋・板橋・世田谷 北足立・多摩NT 各1>
つけ物・鳥卵	3社	<豊洲2、大田1>
食 肉	1社	<食肉>
花 き	7社	<大田・世田谷 各2、 北足立・板橋・葛西 各1>
合 計	29社	

2 取扱数量・売上高及び収益状況

部 別	事 項	平成30年度	平成29年度	前年度比:%
水産物	取扱数量	377,613トㇿ	403,453トㇿ	93.60
	総取扱金額(売上高)	4,699億6,819万円	4,848億5,658万円	96.93
	売上総利益	219億1,963万円	222億2,206万円	98.64
	営業利益	6億7,045万円	8億1,182万円	82.59
	経常利益	17億1,460万円	22億837万円	77.64
青 果	取扱数量	1,936,496トㇿ	1,978,376トㇿ	97.88
	総取扱金額(売上高)	5,373億7,921万円	5,667億4,607万円	94.82
	売上総利益	367億9,047万円	386億241万円	95.31
	営業利益	1億1,179万円	22億8,034万円	4.90
	経常利益	8億3,199万円	29億7,780万円	27.94
花 き	取扱数量	1,509,879千本	1,572,937千本	95.99
	総取扱金額(売上高)	807億5,655万円	817億2,472万円	98.82
	売上総利益	78億4,864万円	78億6,270万円	99.82
	営業利益	8,910万円	1億364万円	85.97
	経常利益	2億200万円	2億3,174万円	87.17

3 総資産・負債・自己資本

部 別	事 項	平成30年度	平成29年度	前年度比:%
水産物	総資産	1,078億9,524万円	1,078億4,459万円	100.05
	負 債	603億1,480万円	610億481万円	98.87
	自己資本	475億8,044万円	468億3,978万円	101.58
	自己資本比率	44.10%	43.43%	-
青 果	総資産	692億4,916万円	698億9,578万円	99.07
	負 債	197億5,878万円	212億7,245万円	92.88
	自己資本	494億9,038万円	486億2,333万円	101.78
	自己資本比率	71.47%	69.57%	-
花 き	総資産	200億2,418万円	200億5,854万円	99.83
	負 債	112億6,846万円	112億4,473万円	100.21
	自己資本	87億5,573万円	88億1,381万円	99.34
	自己資本比率	43.73%	43.94%	-

4 各部門の比較

項目・部類	水産物部	青果部	花き部	計
総取扱金額(売上高)	4,699億6,819万円	5,373億7,921万円	807億5,655万円	1兆881億395万円
売上総利益	219億1,963万円	367億9,047万円	78億4,864万円	665億5,874万円
売上総利益率	4.66%	6.85%	9.72%	6.12%
販売費及び一般管理費	212億4,918万円	366億7,867万円	77億5,954万円	656億8,740万円
営業利益	6億7,045万円	1億1,179万円	8,910万円	8億7,134万円
営業利益率	0.14%	0.02%	0.11%	0.08%
経常利益	17億1,460万円	8億3,199万円	2億200万円	27億4,859万円
経常利益率	0.36%	0.15%	0.25%	0.25%

※つけ物・鳥卵及び食肉部を除く

総取扱金額（売上高）は、青果部が5,374億円と最も大きい。次いで、水産物部が4,700億円、花き部が808億円となっている。

売上総利益率（粗利率）は、花き部が9.72%、青果部が6.85%、水産物部が4.66%、と花き部が一番大きい。これは、総取扱金額（売上高）に占める受託販売の割合が93%を占め、受託販売手数料率も花き部が一番高いことによる。

営業利益率は、各部門とも、売上総利益が減少したことにより、前年度より低下している。

経常利益率は各部門において営業外損益がプラスであることから、営業利益率に比して高くなっている。

<参考>

1 営業利益率

営業利益とは、会社が本業から上げる利益のこと。売上から、原材料費や仕入れ費用、販売費及び一般管理費などの本業に関わる費用を差し引いて求めたものが営業利益である。営業利益率は、企業の収益力を見るための指標であり、売上のうちのどれくらいが営業利益になるのかを見るもの。

$$\text{営業利益率} = \text{営業利益} / \text{総売上高（受託+買付+兼業）} \times 100（\%）$$

2 経常利益率

経常利益とは、営業利益に受取利息や支払利息などの経常的に発生する本業以外の損益を加減して求めたものである。営業利益と同様、企業の収益力を見る指標である。

$$\text{経常利益率} = \text{経常利益} / \text{総売上高（受託+買付+兼業）} \times 100（\%）$$

3 部類別平均単価の推移

（消費税込み） 単位：円

部 類		30年度	29年度	28年度
水 産		1,147	1,115	1,065
青 果	野菜	246	260	268
	果実	433	418	405
花 き	切花	67	65	66
	鉢物	565	542	533

※・年間総括表(市場別・卸売業者別・部類別取扱高)の部類別平均価格による

・水産、青果の平均単価は1kgあたり、花きの平均単価は切花は本、鉢物は鉢あたり

4 利益率の推移

単位：%

部 類		30年度	29年度	28年度
水 産	営業	0.14	0.17	0.31
	経常	0.36	0.46	0.60
青 果	営業	0.02	0.40	0.51
	経常	0.15	0.53	0.69
花 き	営業	0.11	0.13	0.21
	経常	0.25	0.28	0.39